

令和6年度 産業経済研究委託事業 (緊急時における被害情報把握・事態対処の体制強化に向けた調査) 報告書

令和7年3月31日
株式会社富士通総研

- 1 全体実施概要
- 2 大規模地震を想定したブラインド型のシミュレーション訓練等の実施
- 3 経済産業省の危機管理・災害対策の取組における課題の調査・分析、助言等

1. 全体実施概要

- 1) 事業の目的と概要
- 2) 実施スケジュール
 - ①実施スケジュール
 - ②実施した会議体

1.1)事業の目的と概要（1/2）

● 事業の目的

文部科学省に設置されている地震調査研究推進本部（本部長：文部科学大臣）によると、首都直下地震（M7クラス）と南海トラフ地震（M8～9クラス）が今後30年以内に発生する確率は、各々70%、70～80%と試算される。2021年10月には、東京23区で東日本大震災以来の震度5強を観測する地震が発生したが、その他の地域でも、2016年の熊本地震（最大震度7）、2018年の北海道胆振東部地震（最大震度7）、2024年1月には、石川県能登半島で最大震度7を観測する地震も発生しており、大規模地震はいつどこで発生してもおかしくない状況にある。

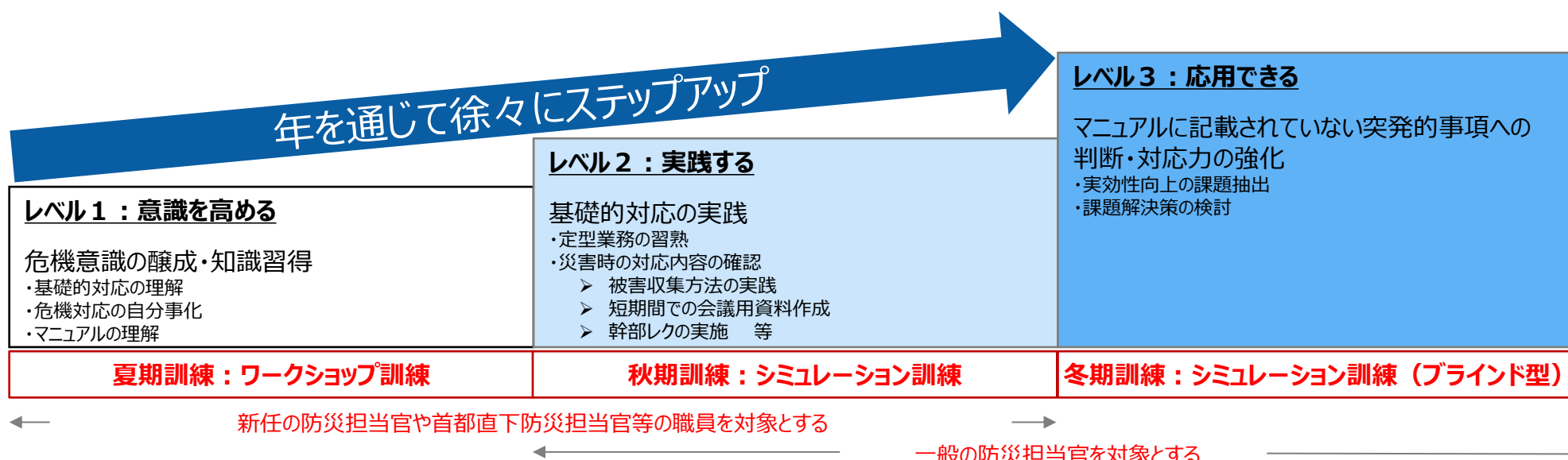
経済産業省は、電気・ガスといったライフラインや、支援物資を製造・調達する産業界を所管しており、大規模地震をはじめとした自然災害が発生した際に、経済産業省が業務を継続しかつ災害対応を迅速に行うことは、多くの国民の生命と生活を守るためにも極めて重要である。経済産業省では、実災害の対応に加え、これまで「経済産業省業務継続計画」に基づいた防災訓練を複数回実施してきており、平時から危機管理・災害対応能力の向上に努めてきたところである。

本事業は、上記の訓練等を通じて明らかになった課題への対応を確実なものとするべく、首都直下地震をはじめとした大規模地震が発生した際の優先業務に係る実施体制・動作対応等を確認するとともに、経済産業省の業務継続体制をより実効性の高いものとするために包括的な支援を行うものである。

1.1)事業の目的と概要 (2/2)

● 事業の概要

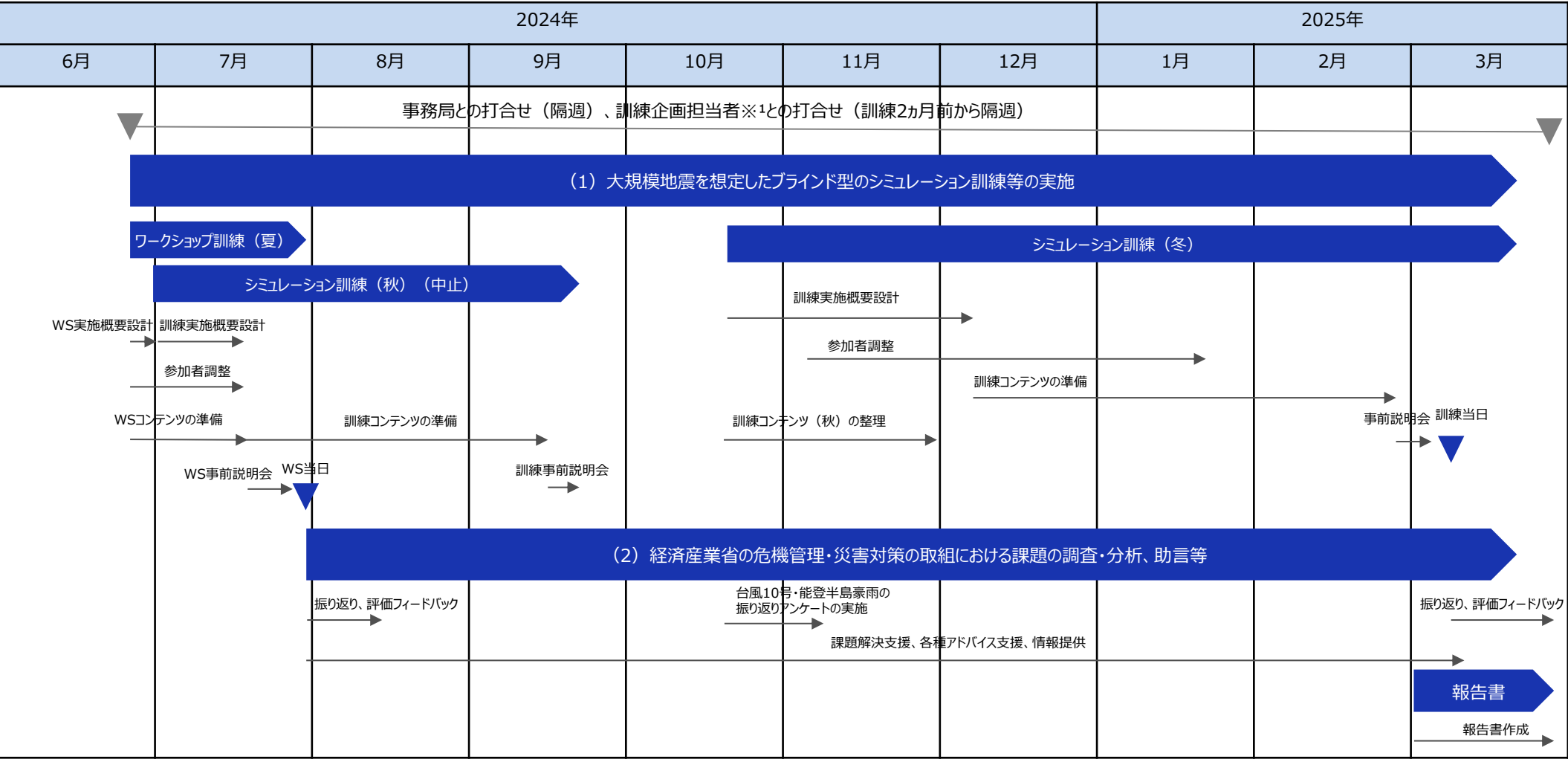
前頁の目的を達成するために段階的な危機対応能力の向上を図ることとし、以下の位置づけで年間3回の訓練を実施した。その振り返りを通じて、経済産業省の現状の課題を抽出した。また、他省庁・民間企業等における事例を踏まえ、今後実施すべき対策を検討した。



項番	訓練名称	想定地震	対象者
1	夏期訓練	首都直下地震	新任の防災担当官 (本省PTのみ)
2	秋期訓練	日本海溝・千島海溝型地震	本省および北海道・東北の経済産業局・産業保安監督部
3	冬期訓練	南海トラフ地震	本省および関東以西の経済産業局・産業保安監督部

1.2)①実施スケジュール

● 本事業は以下のスケジュールで実施した。



※1 訓練の企画・設計および実施にあたり、必要となる専門的知見等をご提供いただくことを目的としてご協力いただいた貴省の職員（防災担当官）を指す。

1.2)②実施した会議体（1/4）

- 以下の会議体を通じて検討・準備を実施した。

通 番	会議体	開催日程 ※オンライン開催	主な実施内容	使用する資料	参加者			
					事務局	企画 担当者	訓練 参加者	富士通 総研
1	キックオフ	6月25日（火）14:00-15:00 本省	・基本方針と作業内容の確認 ・夏期訓練と秋期訓練の実施概要の案	・キックオフ資料	○	—	—	○
2	第1回定例会	7月4日（木）11:00-12:00 本省	・夏期訓練の改修点の検討、夏期訓練改修コンテンツの確認 ・秋期訓練の実施概要の検討	・定例会資料	○	—	—	○
3	第2回定例会	7月16日（木）10:00-10:45 Teams	・夏期訓練改修コンテンツの確認 ・秋期訓練被害報用報告データの作成方法の検討	・定例会資料	○	○	—	○
4	打ち合わせ	7月16日（木）11:00-12:00 Teams	・秋期訓練の実施概要の検討 ・秋期訓練被害報用報告データの作成方法の検討	—	○	—	—	○
5	打ち合わせ	7月24日（水）16:00-17:00 Teams	・夏期訓練の実施概要の意識合わせ ・秋期訓練の実施概要の検討	—	○	—	—	○
6	第3回定例会	7月26日（金） 9:30-10:30 14:00-14:40 本省	・夏期訓練改修コンテンツの確認（続き） ・秋期訓練被害報用報告データの作成方法の検討（続き）	・定例会資料	○	○	—	○
7	夏期訓練リハーサル	7月26日（金）14:40-16:00 本省	・会場のセットアップ、段取りの確認等	・訓練コンテンツ	○	○	—	○
8	夏期訓練	7月30日（火）13:00-17:50 本省	・夏期訓練実施 13:00～14:30：官房PT対象（所要1時30分） 14:40～16:10：エネPT対象（所要1時30分） 16:20～17:50：物資PT対象（所要1時30分）	・訓練コンテンツ	○	○	○	○
9	夏期訓練振り返り会 事前打ち合わせ	8月5日（月）13:30-14:30 Teams	・夏期訓練の参加者アンケート取りまとめ結果の確認	・アンケート結果	○	—	—	○
10	夏期訓練振り返り会	8月7日（水）10:00-11:00 8月8日（木）14:00-15:00 Teams	・夏期訓練の振り返り	・振り返り資料	○	○	—	○
11	秋期訓練打ち合わせ	8月21日（水）10:00-11:30 Teams	・秋期被害報用報告データの作成状況確認 ・秋期訓練コンテンツのレビュー	・訓練コンテンツ	○	—	—	○

1.2)②実施した会議体（2/4）

- 以下の会議体を通じて検討・準備を実施した。

通 番	会議体	開催日程 ※オンライン開催	主な実施内容	使用する資料	参加者			
					事務局	企画 担当者	訓練 参加者	富士通 総研
12	秋期訓練打ち合わせ	8月26日（月）16:45-17:45 Teams	・ 秋期被害報用報告データの作成状況確認 ・ 秋期訓練コンテンツのレビュー	・ 訓練コンテンツ	○	—	—	○
13	秋期訓練リハーサル	9月20日（金）13:00-15:00 本省	・ 会場のセットアップ、段取りの確認等	・ 訓練コンテンツ	○	—	—	○
14	打ち合わせ	10月25日（金）13:40-14:00 Teams	・ 今後の業務進行について確認	—	○	—	—	○
15	打ち合わせ	11月1日（金）10:00-11:00 Teams	・ 冬期訓練の進め方の確認	—	○	—	—	○
16	第4回定例会	11月12日（金）15:10-14:20 Teams	・ 冬期訓練の進め方の確認	定例会資料	○	—	—	○
17	第5回定例会	11月18日（月）13:00-14:30 Teams	・ 冬期訓練の実施概要の確認	定例会資料	○	—	—	○
18	第6回定例会	11月26日（火）11:00-12:00 Teams	・ 冬期訓練の実施概要の確認	定例会資料	○	—	—	○
19	フィードバック 打ち合わせ	11月29日（金）9:40-10:30 Teams	・ 省内の検討状況の共有	定例会資料(第6回)	○	—	—	○
20	第7回定例会	12月5日（木）14:00-15:00 Teams	・ 冬期訓練の実施概要、企画の進め方の意識合わせ	定例会資料	○	—	—	○
21	第8回定例会	12月11日（水）16:00-17:00 Teams	・ 作成資料のイメージ合わせ	訓練コンテンツイメージ	○	—	—	○
		12月12日（木）16:00-17:00 Teams	・ 作成資料のイメージ合わせ					
22	第9回定例会	12月24日（火）13:00-15:00 Teams	・ 昨年度の検討を踏まえたタイムライン案 （状態定義案含む）のレビュー ・ シナリオ・想定する対応例案のレビュー ・ 訓練コンテンツのレビュー、及び配付情報 （被害報用元ネタ）の作成依頼資料レビュー	訓練コンテンツ案 定例会資料	○	—	—	○

1.2)②実施した会議体（3/4）

- 以下の会議体を通じて検討・準備を実施した。

通 番	会議体	開催日程 ※ワライン開催	主な実施内容	使用する資料	参加者			
					事務局	企画 担当者	訓練 参加者	富士通 総研
23	第10回定例会	1月9日（木） 11:00-12:00 Teams	・ 企画担当者向け説明会に向けた意識合わせ	訓練コンテンツ案	○	—	—	○
		1月9日（木） 14:00-15:00 Teams	・ 企画担当者向け説明会に向けた意識合わせ	訓練コンテンツ案	○	—	—	○
		1月9日（木） 16:00-18:00 Teams	・ 企画担当者向け説明会に向けた意識合わせ	訓練コンテンツ案	○	—	—	○
24	企画担当者向け説明 会	1月16日（木） 13:30-14:30 Teams	・ 昨年度の検討を踏まえたタイムライン案（状態定義案含む）の説明 ・ 被害想定の説明 ・ シナリオ・想定する対応例案の説明 ・ 訓練コンテンツのレビュー、及び配付情報（被害報用元ネタ）の作成依頼	訓練コンテンツ案	○	○	—	○
25	第11回定例会	1月22日（水） 10:00-12:00 Teams	・ 冬期訓練の実施環境や実施方法の説明（コミュニケーションや情報共有の方法）	定例会資料	○	—	—	○
26	第12回定例会	1月28日（火） 13:00-14:20 Teams	・ 冬期訓練の実施環境や実施方法の説明（コミュニケーションや情報共有の方法）	定例会資料	○	—	—	○
27	第13回定例会	2月4日（火） 14:00-15:30 Teams	・ 冬期訓練の実施環境や実施方法の説明（コミュニケーションや情報共有の方法）	定例会資料	○	—	—	○
28	第14回定例会	2月12日（水） 10:30-11:30 Teams	・ 冬期訓練の実施環境や実施方法の説明（コミュニケーションや情報共有の方法）	定例会資料	○	—	—	○
29	第15回定例会	2月19日（水） 17:00-19:00 Teams	・ 冬期訓練コンテンツの確認 ・ 事前説明会の実施内容確認	訓練実施要領など 訓練コンテンツ一式	○	—	—	○
30	打ち合わせ	2月21日（金） 17:30-20:30 Teams	・ 冬期訓練コンテンツの確認	訓練実施要領など 訓練コンテンツ一式	○	—	—	○
31	第16回定例会	2月25日（火） 13:00-19:00 Teams	・ 冬期訓練コンテンツの確認 ・ 事前説明会の実施内容確認	訓練実施要領など 訓練コンテンツ一式	○	—	—	○

1.2)②実施した会議体（4/4）

- 以下の会議体を通じて検討・準備を実施した。

通 番	会議体	開催日程 ※オンライン開催	主な実施内容	使用する資料	参加者			
					事務局	企画 担当者	訓練 参加者	富士通 総研
32	冬期訓練リハーサル	2月27日（水）13:00-15:00 災対業務室	・会場のセットアップ、段取りの確認等	訓練実施要領など 訓練コンテンツ一式	○	—	—	○
33	第17回定例会	3月4日（火）14:00-16:00 Teams	・冬期訓練コンテンツの確認 ・事前説明会の実施内容確認	訓練実施要領など 訓練コンテンツ一式	○	—	—	○
34	冬期訓練リハーサル2	3月5日（水）16:10-20:00 災対業務室	・会場のセットアップ、段取りの確認等	訓練実施要領など 訓練コンテンツ一式	○	—	—	○
35	事前説明会 （企画担当者向け）	3月6日（木）10:00-10:30 Teams	・冬期訓練当日の進め方、依頼内容の説明	説明資料	○	○	—	○
36	事前説明会 （参加者向け）	3月6日（木）11:00-11:40 Teams	・冬期訓練当日の進め方、実施内容の説明	説明資料	○	△ (任意)	○	○
37	冬期訓練	3月7日（金）18:00-20:30 本庁2階・地方支分部局	・南海トラフ巨大地震を想定したシミュレーション訓練	訓練コンテンツ	○	○	○	○
38	第18回定例会	3月11日（火）13:30-14:30 Teams	・冬期訓練後の段取り確認、振り返りの速報共有	定例会資料	○	—	—	○
39	打ち合わせ	3月12日（水）13:00-14:00 Teams	・実施報告書の骨子の確認	報告書枠組み	○	—	—	○
40	第19回定例会	3月19日（水）10:00-11:00 Teams	・冬期訓練実施結果のまとめ報告	訓練実施結果まとめ	○	—	—	○

2. 大規模地震を想定したブラインド型の シミュレーション訓練等の実施

- 1) 夏期訓練
- 2) 秋期訓練
- 3) 冬期訓練

2. 1) 夏期訓練

- ①実施概要
- ②実施までのスケジュール
- ③実施までの準備
- ④訓練実施
- ⑤実施後の振り返り

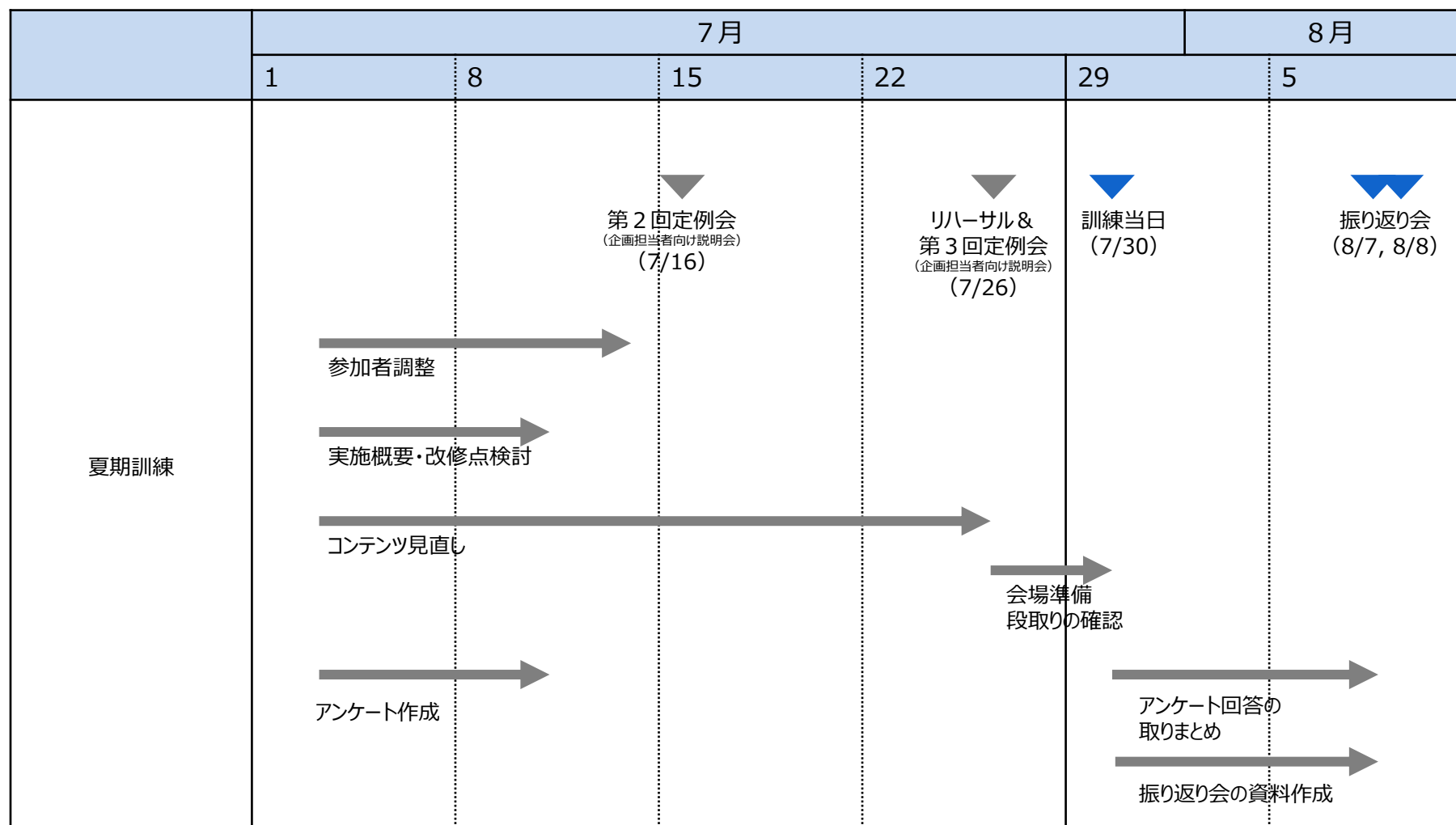
2.1)①実施概要

- 夏期訓練は以下の概要で実施した。
- PT毎に開催し、弊社の司会進行で各班マニュアルの記載に基づき、主な役割についての問いかけを行い、参加者同士で議論していただいて結果を発表し、弊社から解説するという流れで進行した。

目的・ゴール	● 危機意識の醸成と現行マニュアルの基礎的理解
実施日時	● 開催日 : 2024年7月30日 (火) ● 開催時間 : 13:00～14:30 : 官房対策PT対象 (所要1時30分) 14:40～16:10 : エネルギーPT対象 (所要1時30分) 16:20～17:50 : 物資PT対象 (所要1時30分)
開催場所	● 災害対策業務室
参加者	● 貴省で初めて災害対応業務にあたる職員 ※各PT／班から複数名ご参加
実施方法	● ワークショップ訓練 (ドリル形式含む)
実施内容	● 想定脅威 : 首都直下地震 ● 首都直下地震が発生した場合を想定し、本省の各PTにおける初動対応に係るテーマを付与し、その対応内容や対応方法について確認し、ワークシートに整理する。

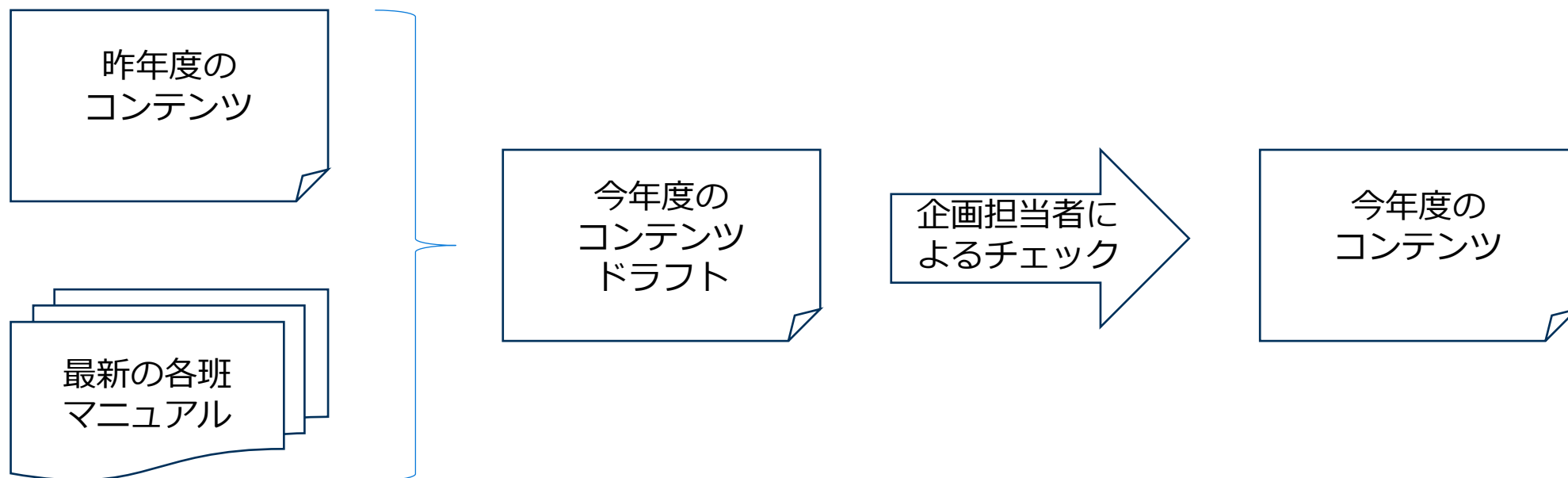
2.1)②実施までのスケジュール

- 夏期訓練は以下のスケジュールで準備し、実施した。



2.1)③実施までの準備

- 夏期訓練については、昨年度に実施した同様な訓練のコンテンツを最大限に活用することで、早期の実施を実現した。
- 最新の各班マニュアルをご提示いただき、昨年度コンテンツに影響のある点を最新化したうえで、企画担当者に内容をチェックしていただいて今年度のコンテンツとした。



2.1)④訓練実施

- ワークショップ訓練は、(1)検討テーマの提示、(2)テーマに沿ったディスカッション、(3)検討内容の発表、(4)解説の順で実施した。各班の検討テーマは以下の通り。

PT	検討テーマ	PT／班												
		官房対策PT				エネルギーPT						物資PT		
		全体総括班	人事班	システム・厚生班	広報班	総括班	電力保安班	電力需給班	石油・コンビナート班	SS・LP班	ガス班	総括班	物資班	流通班
全PT共通	1. 本部設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
官房対策PT	1. 省内緊対本会議の運営	○												
	2. 現地対策本部への要員派遣		○											
	3. 被害確認（省内）			○厚生										
	4. ITインフラ被害の対応			○システム										
	5. 危機広報				○									
エネルギーPT	1. 被害確認（インフラ）						○	○	○	○	○			
	2. 優先供給						○		○	○	○			
	3. 計画停電							○						
物資PT	1. プッシュ型支援											○	○	
	2. 被害確認（指定公共機関）													○

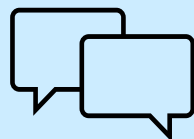
2.1)⑤実施後の振り返り

- 夏期訓練後、各参加者にアンケートを実施し、回答を取りまとめた。結果は以下の通り。



【結論】

- 夏期ワークショップ訓練を通じて「概ね理解できた」以上の回答が**100%**
- 自班の対応の一連の流れやPT内における自班の立ち位置を再確認できた



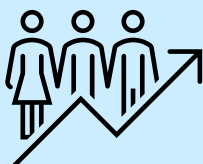
【訓練の様子】

- いくつかのシナリオへの対応を各班でディスカッションを通じて検討いただいた（ワークショップ形式）
- 自班の対応の一連の流れやPT内における自班の立ち位置を再確認できた



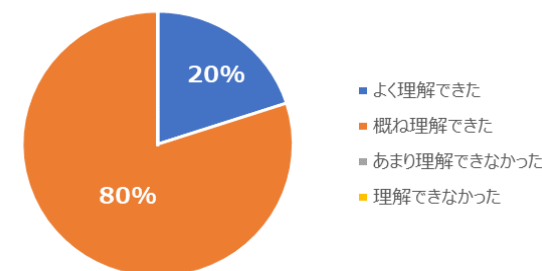
【訓練を経ての気づき・課題】

- インターネット利用不可時の代替ツールの検討が必要
- 初動対応で各班内での役割や代替要員の整備が必要



【訓練自体の改善点】

- シナリオの検討時間が短かった
→来年度以降は訓練時間の拡大を検討



2. 2) 秋期訓練

- ①実施概要（中止）
- ②実施までのスケジュール
- ③実施までの準備

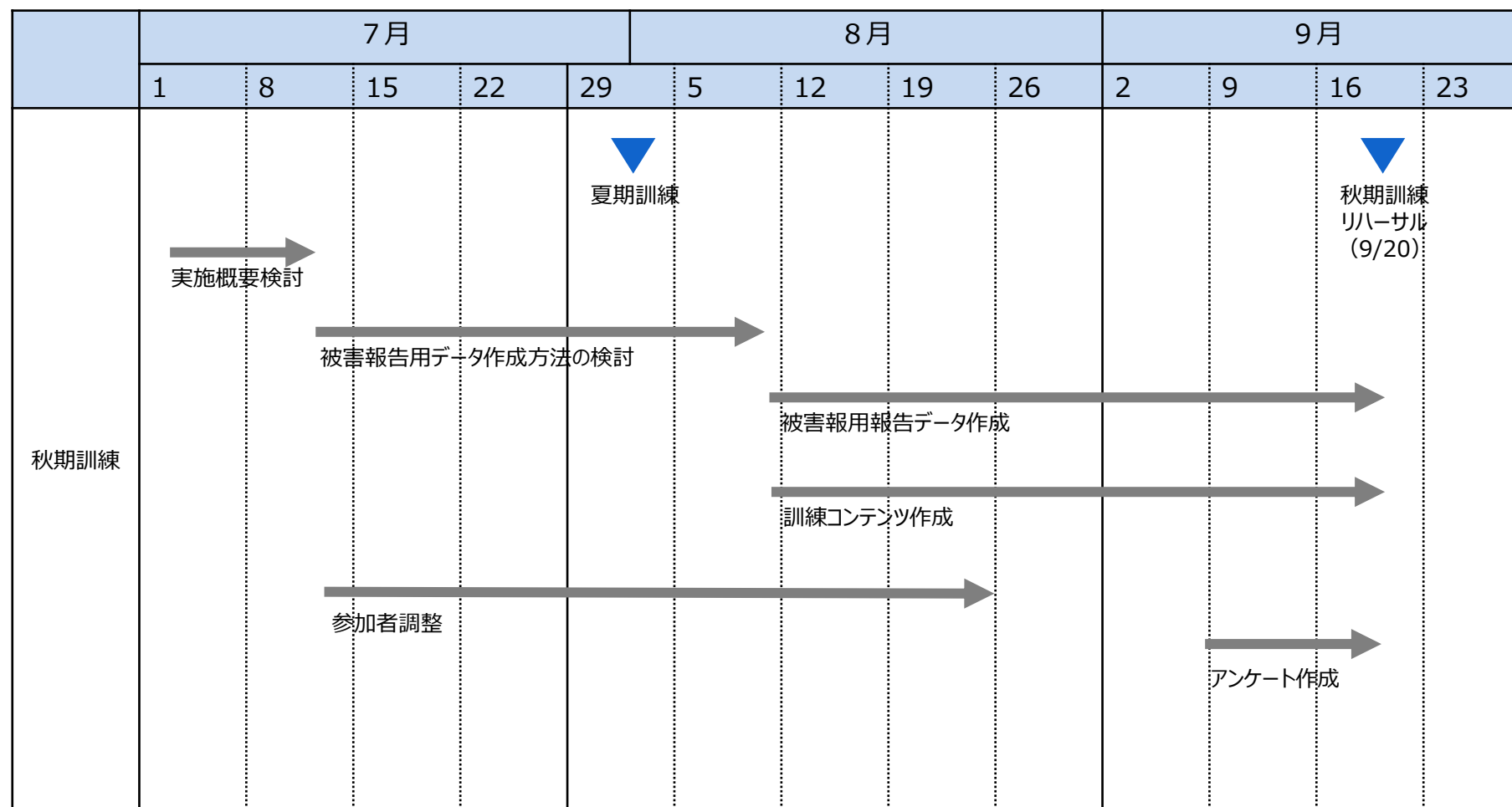
2.2)①実施概要（中止）

- 秋期訓練は以下の概要で実施予定であったが、令和6年奥能登豪雨等の影響により、中止となった。

目的・ゴール	被害報作成手順の習熟（本省） 被害報用の報告手順の理解（地方支分部局）
実施日時 （予定）	開催日：2024年8月30日（金）→ 中止 開催時間：16:10～17:10
開催場所	本省および地方支分部局ともに、自席から参加
参加者	本省・北海道及び東北の経済産業局・産業保安監督部の防災担当官
実施方法	シミュレーション訓練
実施内容	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震（釧路沖震度7）が発生した場合を想定し、各担当が初動対応を支障なく実行できるか確認する。発災後約2時間以内に、被害情報収集（2～3回発注予定）、省内の緊急災害対策本部会議の準備（発言案等の作成）を行いつつ、各々の担当が有事に担う役割についても確認する。

2.2)②実施までのスケジュール

- 秋期訓練は以下のスケジュールで準備した。（秋期訓練リハーサルまで実施したが、中止となった。）

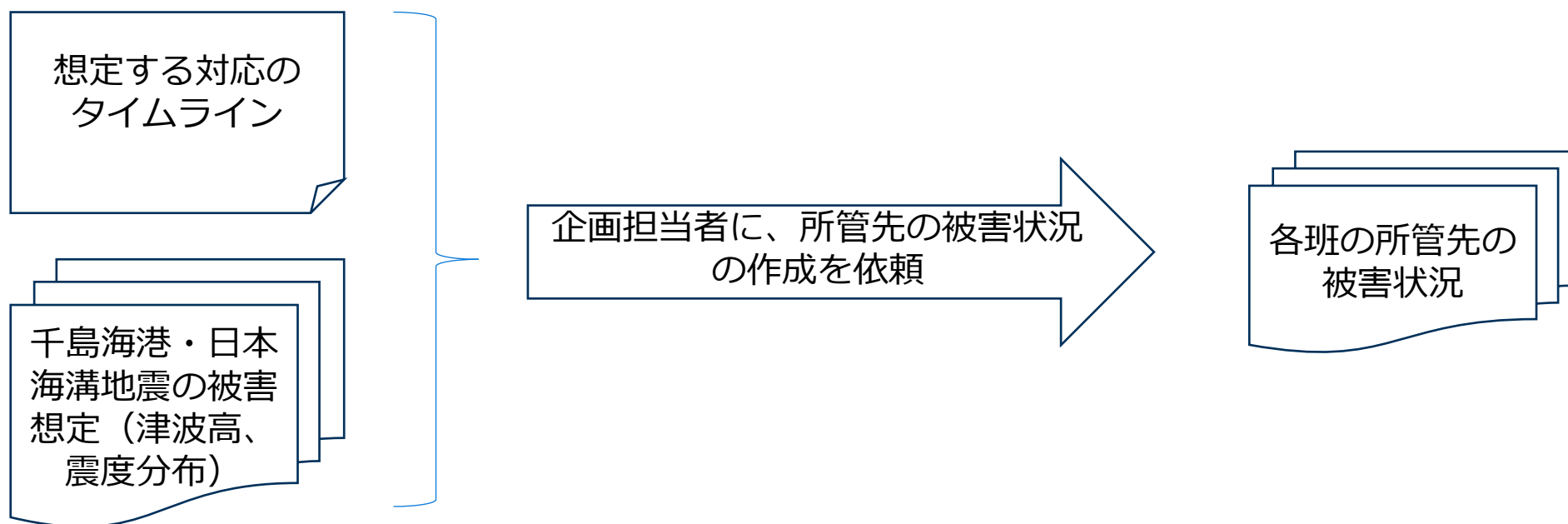


2.2)③実施までの準備 (1/2)

- 秋期訓練は仕様書に則り、政府の令和6年9月1日「防災の日」総合防災訓練に合わせて、日本海溝・千島海溝型地震を想定し、北海道及び東北の地方支分部局と合同でシミュレーション訓練の準備を実施した。
- 秋季防災訓練においては、発災から初動の2時間における被害収集及び災害対策会議資料作成に係る対応に限定した内容とした。企画担当者に、省として想定する対応のタイムラインと被害想定を共有し、具体的な被害状況を作成依頼した。

事務局提示資料

企画担当者作成資料



2.2)③実施までの準備 (2/2)

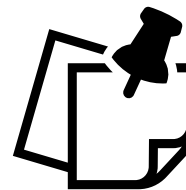
- シミュレーション訓練の流れは以下の通り設定した。本訓練では、原則自席で被害情報を収集していただき、収集結果を取りまとめて被害報作成を行うことを想定した。また、訓練にて収集した情報は、翌日に実施予定であった幹部により訓練のためのレク資料として活用されることを想定していた。

①訓練トリガー発出【災対室】



- ✓ 訓練チーム上で訓練開始のアナウンスを実施
- ✓ トリガーをもとに各担当は役割に応じた行動を開始

②被害情報等の収集【担当PT、関係課室】



- ✓ 各々所掌範囲の被害情報や復旧見込み等の情報を収集する。
- ✓ 災対室からの被害報の発注に対して、収集した情報を応答いただく

※収集先（問合せ先）は実際の民間企業や関係団体ではなく、事務局が代替予定。

③省内緊対本部の準備【関係課室】



- ✓ 災対室から省内緊対本部が9/1に開かれる旨、連絡予定
- ✓ その連絡をもとに、関係局は資料作成～局長（課室長）発言案を作成
- ✓ 関係局長（課室長）へレクいただき、資料セットまで準備すること

2. 3) 冬期訓練

- ①実施概要
- ②実施までのスケジュール
- ③実施までの準備
- ④訓練実施
- ⑤実施後の振り返り
- ⑥取りまとめ

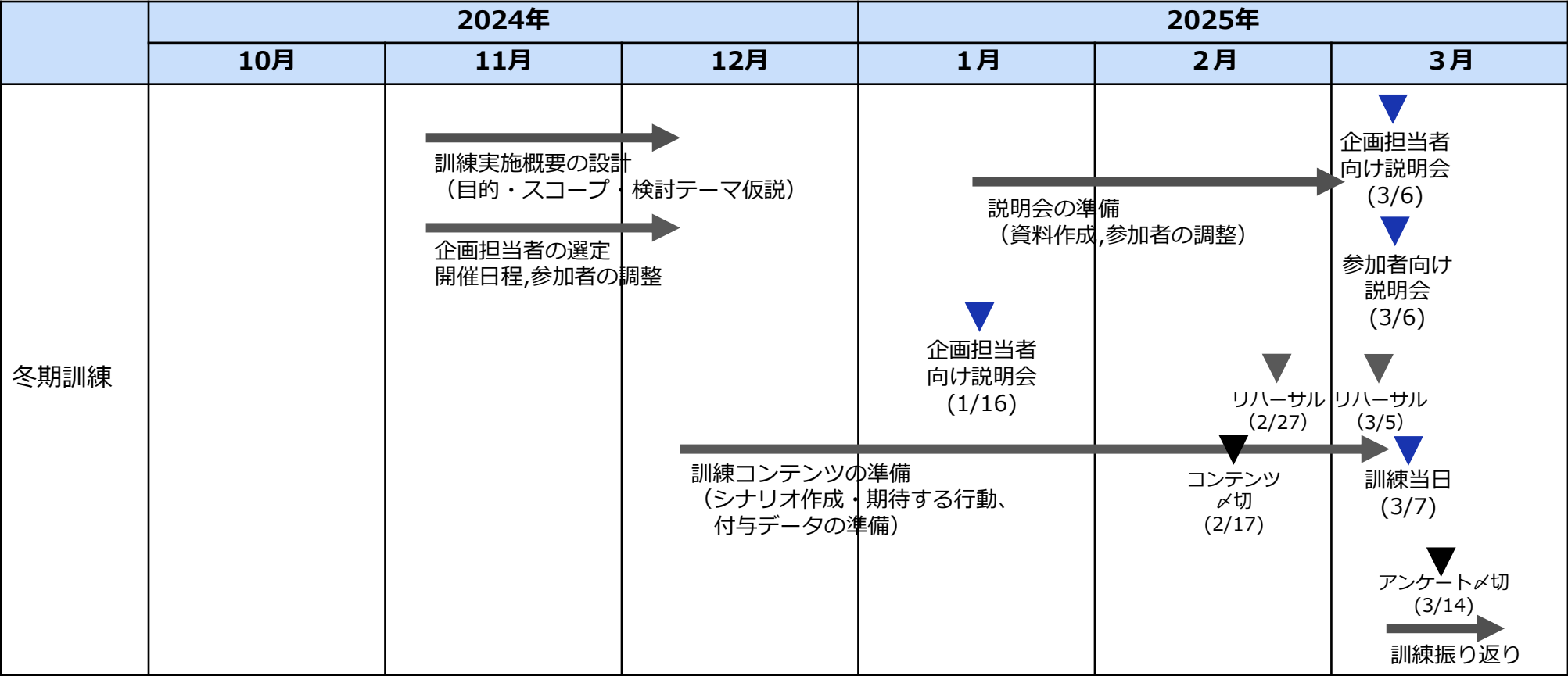
2.3)①実施概要

- 冬期訓練は以下の概要で実施した。

目的・ゴール	● 南海トラフ巨大地震を想定した簡易マニュアルの実効性の検証並びに、課題解決を図ることで、本省及び地方支部分局の組織的な災害対応能力を高める。
実施日時	● 開催日時：2025年3月7日（金）18:00～20:30
開催場所	● 本省（災害対策業務室）（※首都圏でも最大震度5強の想定） ● 地方支分部局（関東、中部、近畿、中国、四国、九州）
参加者	● 本省（官房対策PT、エネルギーPT、物資PT、その他関係部局） ● 関東、中部、近畿、中国、四国、九州の各経済産業局・産業保安監督部
実施方法	● シミュレーション訓練（シナリオ非提示型）
実施内容	● 南海トラフ巨大地震が発生した場合の本省の各PT・関連部局間、本省と地方支分部局間の対応内容や対応方法について検証し、現状課題の抽出、解決方針の検討を行う。

2.3)②実施までのスケジュール

- 冬期訓練（企画・設計、実施、評価）は以下のスケジュールで実施した。



2.3)③実施までの準備 (1/4)

- 冬期訓練の想定脅威は南海トラフ巨大地震とし、下図のように地震の概要と震度分布を想定した。なお、震度分布は「南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布」※¹を採用した。

※¹ 「南海トラフ巨大地震モデル検討会（第15回）」で発表された、強震波形4ケースと経験的手法の重ね合わせによる震度分布を指す。

引用元リンク：<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/model/15/index.html>

- 冬期訓練の前提条件（被害想定）は、「中央防災会議 防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」（平成25年3月18日発表）の想定※²を採用した。また、その他の前提条件として、下記の内容を別途設定した。

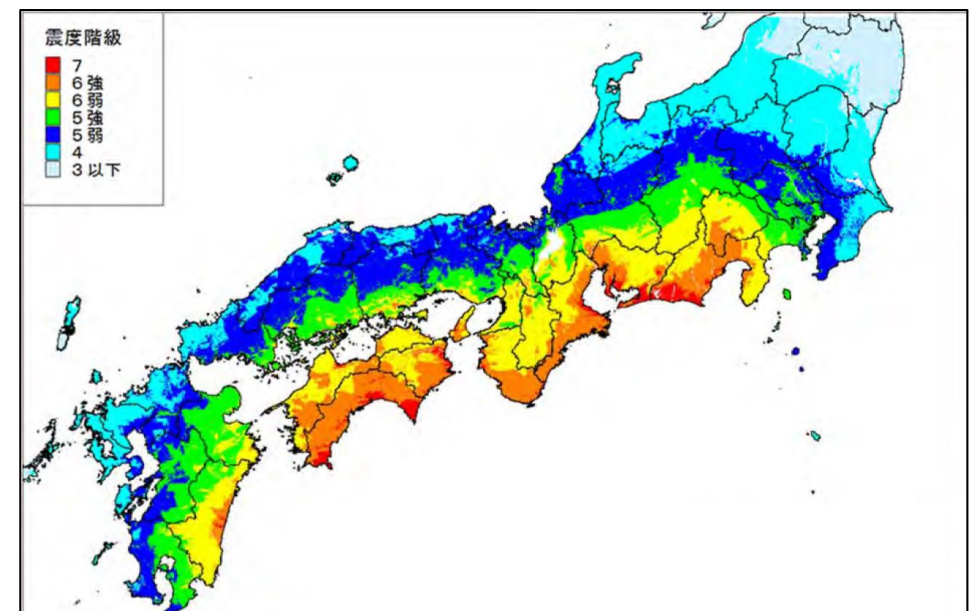
- ・ ネットワークは繋がりにくいが使用可能
- ・ 地方局の庁舎は、中部以外は大きな影響なし
- ・ 原子力発電所は大きな被害なし
- ・ 政府現地対策本部は、中部・近畿・四国・九州に設置

※² 引用元リンク：https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/index.html

<地震の概要>

- **地震名**
令和7年南海トラフ巨大地震
- **発災日時**
令和7年3月7日（金）18:00
- **震源域**
南海トラフ
- **規模**
マグニチュード9.0/最大震度7
- **各都道府県の最大震度**
震度7 静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、
徳島県、高知県

<震度分布>



【出典】内閣府防災情報のページ／南海トラフ巨大地震モデル検討会（第15回）

「南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布」

2.3)③実施までの準備（2/4）

- シミュレーション訓練では、訓練参加者の連絡手段※¹※²および運用方法を以下の通り設定した。
 - ※¹ 訓練参加者が訓練事務局と電話、メールで連絡を取るにあたり、訓練事務局の担当者別の連絡先リストを作成・提示した。
 - ※² 訓練事務局が当日に使用する電話機については、レンタル事業者から携帯電話16台を手配した。

連絡手段	運用方法（訓練参加者）
● 電話	・ 訓練参加者以外の関係者（業界団体等）の代わりに訓練事務局へ架電（訓練事務局が代役として応答） → 訓練参加者の携帯電話（社給）もしくはTeams外線により架電 → 所属、氏名と共に「〇〇宛ての電話です」と誰宛の電話か明示
● メール ● 特有のシステム（物資システム等） ● SNS等	・ 訓練参加者以外の関係者（業界団体等）の代わりに訓練事務局へメール送信 → 件名冒頭に【防災訓練】と付帯し、所属、氏名、誰宛てかをメール文中に明記 ・ 特有システムの代替として訓練事務局へメール送信 → どういった情報を要求しているかメール文中に記載 ・ SNS等の代替として訓練事務局へメール送信 → SNS等への投稿文と同内容をメール送信
FAX	官房対策PT設置の「FAX箱」に紙を投稿
Teams	訓練用のチームを使用 ※本番用は利用しない

2.3)③実施までの準備 (3/4)

- 冬期訓練の開催にあたり、訓練参加者向け、企画担当者向けに事前説明会を実施した。各説明会の日程、および主な内容は以下の通りである。

- 企画担当者向け事前説明会

【日時】 2025年3月6日（金） 10:00～10:30

【場所】 オンライン（Teams）

【内容】 シミュレーション訓練に係るご依頼事項※¹のご説明（富士通総研より）

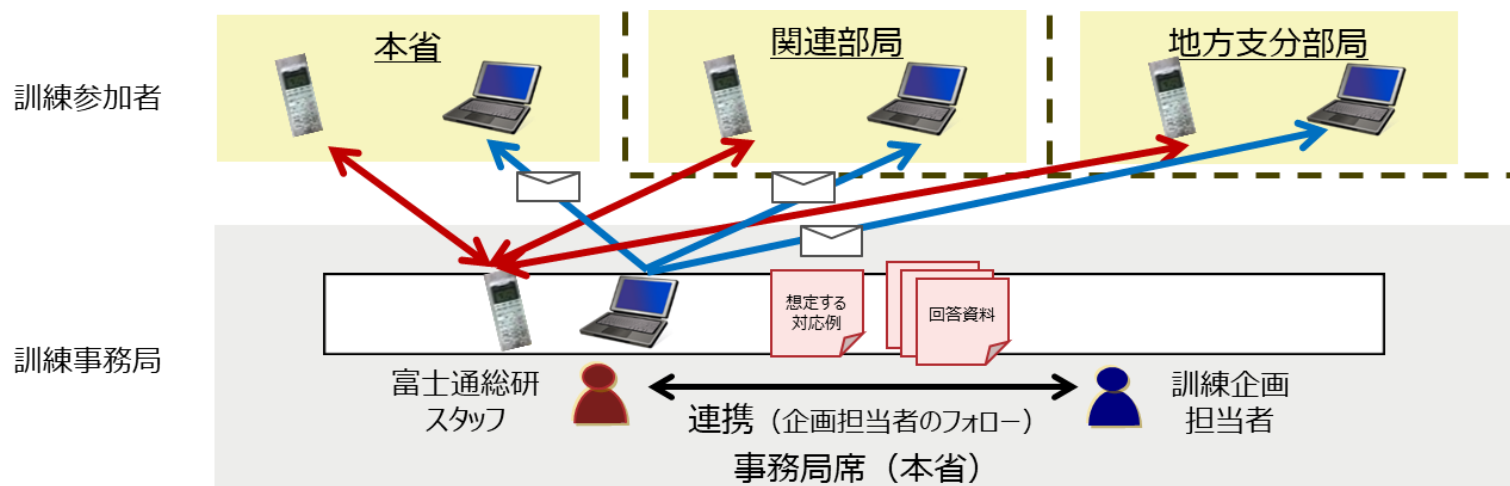
※¹ 訓練当日の円滑な運営に向けた、事務局および富士通総研スタッフへのフォロー（下図参照）に関する依頼を実施。

- 訓練参加者向け事前説明会

【日時】 2025年3月6日（金） 11:00～11:30

【場所】 オンライン（Teams）

【内容】 訓練の流れと参加者の実施事項についてのご説明（富士通総研より）



2.3)③実施までの準備 (4/4)

- 訓練事務局として訓練参加者からの問合せ対応を行うにあたり、富士通総研スタッフ16名を選任し、各PT/班、各関連部局、各地方支分部局の担当者を割り振った。割り振り（富士通総研スタッフの役割分担）の内訳は下表の通りである。
- 当該担当者に対しては、事前にシナリオ内容や対応方法について説明した。さらに、電気であれば、需給と供給バランスの崩れにより停電が発生する事等、電力・ガス・燃料の供給（特に災害発生時の供給）に関する最低限の知見等を、各班マニュアルを参照して説明した。これらの社内教育により訓練参加者からの専門的な会話について、ある程度までは追従できるようにした。

役割	担当	人数
問合せ対応	・官房対策PT/全体総括班 ・官房対策PT/人事班	1
	・官房対策PT/システム・厚生班 ・官房対策PT/広報班	1
	・エネルギーPT/総括班 ・エネルギーPT/電力需給班	1
	・エネルギーPT/電力保安班 ・地方監督部（電力安全課）	1
	・エネルギーPT/石油・コンビナート班	1
	・エネルギーPT/SS・LP班	1
	・エネルギーPT/ガス班 ・地方監督部（保安課・鉱山保安課）	1
	・物資PT/総括班 ・物資PT/物資班	1
	・物資PT流通班	1
	地方局	1
	地方監督部（管理課）	1
	関連部局（製造局）	1
	関連部局（商情局・中企庁）	1
問合せ対応全体フォロー	—	1
全体管理	—	2
合計		16

2.3)④訓練実施（1/2）

- 冬期訓練は以下のアジェンダで実施した。

【日時】 2025年3月7日（金）18:00～20:30

【場所】 本省（災害対策業務室）※¹、地方支分部局（関東、中部、近畿、中国、四国、九州）※²

※¹ 関連部局は本省内のマニュアル指定場所（本訓練では自席）に参集した。

※² 地方支分部局は現地のマニュアル指定場所に参集した。

時間		実施内容
18:00～20:00	120分	シミュレーション訓練
20:00～20:20	20分	省内緊对本部会議
20:20～20:30	10分	講評（技術総括・保安審議官より）

2.3)④訓練実施（2/2）

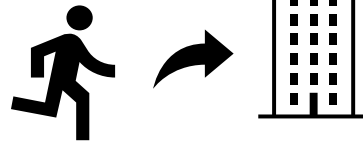
- シミュレーション訓練の流れは以下の通りに実施した。シミュレーション訓練では、災害対策業務室への参集も訓練範囲とし、訓練参加者には参集（②）～省内緊対本部会議の開催（⑤）まで各役割に応じた対応を実施していただいた。

①訓練トリガー発出 【災対室】



- ✓ 訓練チャンネルから発災アナウンス

②災対業務室に参集 【担当PT】



- ✓ PT要員は災害対策業務室へ参集。
- ✓ 参集後は各役割に応じた行動を開始。

※PTメンバー以外の参集場所は各局マニュアルに準拠

③役割に応じた対応 【担当PT、関係課室】



- ✓ 各々所掌範囲の被害状況や復旧見込み等の情報を収集する。
- ✓ 災対室からの被害報の発注に対して、収集した情報を回答。

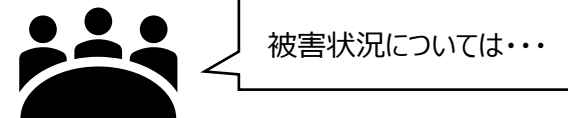
※収集先（問合せ先）は実際の民間企業や関係団体ではなく、事務局（富士通総研）が代替。

④省内緊対本部の準備【関係課室】



- ✓ 災対室から省内緊対本部が開かれる旨、連絡。
- ✓ その連絡をもとに、関係局は資料作成～局長発言案及び説明資料を作成。
- ✓ 関係局長ヘレクを実施

⑤省内緊対本部会議【局長級】



- ✓ 関係局長は会議場所に参集。（代理出席可）
- ✓ 被害状況や復旧見通し等について報告

2.3)⑤実施後の振り返り

- 冬期訓練後、各PT/班、各関連部局、各地方支分部局の単位で、訓練での対応の振り返りと現状課題の抽出、およびその対策の検討を実施していただいた※¹。振り返りを実施いただくにあたり用意したワークシートは、以下の通りである。
※¹ 振り返りの期間は、冬期訓練実施後の約1週間とした。

振り返りワークシート

班・局名: _____

検討の観点	振り返り結果	問題点	対策
■ 予め設定した時間内に、限られたリソース(要員数、時間、情報等)で各班の業務が達成できましたか？			
■ 他チーム(他班・他局など)との連携はスムーズにできましたか？ できなかった場合、その理由は何ですか？			
■ 訓練中に対応が困難だったことは何でしたか？ また、それはなぜですか？			
■ 運営上の改善点がありましたらご意見をお聞かせください。			
■ 上記の他、お気づきの点があれば、ご記入ください。			

2.3)⑥取りまとめ（1/2）

- 冬期訓練振り返り結果のサマリは以下の通り。

整理の観点	課題の内容	対応策（案）
危機対応力の向上	初動対応の認識があまく、参集後に官房対策PTからの指示待ちになり業務開始が遅れた。（各PTの初動対応の認識が参加者間で乏しかった。）	・参集後、迅速かつ自律的に対応する力を養うべく、 基礎知識（マニュアル等）の習得に向けた研修の新設・拡充 や、マニュアルの基礎的理解を目的とした 定期的な訓練を継続 してはどうか。
対応要員の検討・整理	業務が並行するなど繁忙した際、人員が不足して対応が間に合わないことがあった。	・単純作業については、 支援要員（首都直下型地震対応補助担当）を参集して作業を依頼 する等、 増員とその作業分担について検討 してはどうか。 ・業務が繁忙するシチュエーションやタイミングを想定し、 状況の把握を行い、タスクの優先度や進捗状況の見える化を図る役割を新設 し、見直し個所のマニュアルへの反映を行ってはどうか。
災対室の設備・備品の見直し	座席周辺のコードの配置が乱雑で、接続等の準備に時間を要してしまった。	・各自のPCやモニター等とスムーズに接続できるよう、可能な限り整理整頓（コンセントの配置を工夫する等）を行ってはどうか。 ・ 大容量モバイルバッテリーを追加購入し、対応中に必要に応じて使用できるよう準備 しておくとし便性が向上するのではないかな。
	プリンターの台数が少なく、他チームと利用タイミングが重なって省内緊対本部会議に向けたレクの準備に時間を要してしまった。	既存の複合機を各PTに1台ずつ割り当てるか、各PT/班にモバイルプリンターを設置のうえ事前に接続設定 をしておくことを検討してはどうか。

2.3)⑥取りまとめ (2/2)

(つづき)

整理の観点	課題の内容	対応策 (案)
訓練概要の理解 ※訓練の準備面	訓練への参加が初めてということもあり、訓練概要の説明が直前だと理解するのに時間が足りなかった。	事前説明会の開催が直前となった原因としては、訓練概要の説明と合わせて共有予定であったロジ関係資料（連絡先リスト等）の作成が遅れたことにあるため、 ロジ関係資料の作成が後手に回らないよう、訓練概要の説明資料と並行して作成を進めてはどうか。
シナリオ、回答資料の作成 ※訓練の準備面	企画担当者として、企画段階でどの程度の調整作業が求められるのか分からない点が多かった。（企画担当者向け説明会に出てもどこまで調整すべきかわからない点が多かったと他班や監督部から聞いた。）	訓練事務局からの依頼事項等について、企画担当者の理解をサポートするため、 今年度事業で企画担当者からいただいたご質問とその回答を整理したQA集を作成し、次年度事業で参考情報として共有してはどうか。 なお、QA集は今後の事業ごとに更新していくと内容の充実が図れると考える。
事務局との情報連携（Teamsの運用） ※訓練の準備面	・訓練時の発災トリガーが「一般チャネル」だとわかりにくい。 ・訓練用のチームとエネPT報告用のチームが立ち上がり、どちらに投稿すれば良いのかと混乱した。	・Teams上で共通シナリオを付与する場合は、より適切なチャネルを検討する。 ・今後とも訓練用のチームを使用することを原則とするが、本番用のチームの使用可否については訓練参加者の判断に委ねる。ただし、個別に本番用のグループチャットを作成する場合は、その旨周知を徹底する。

3. 経済産業省の危機管理・災害対策の取組における 課題の調査・分析、助言等

- 1) 実災害対応を踏まえた課題
- 2) 今後の研修・訓練

3.1)実災害対応を踏まえた課題

- 秋期訓練は令和6年奥能登豪雨等により中止となった。その代替として貴省における実災害対応での対応状況や課題等について、以下にまとめた。

項番	過去の実災害対応による問題点	問題点解消への対応	検証結果
1	能登豪雨の際、省内対策本部会議を開催したが、参加者の出欠が直前まで明確にならず、座席表の作成に時間を要した。	参加者の名札を用意し、出席者は自身の名刺を持って着席していただく運用とした。	今回の冬期訓練において検証した結果、スムーズに開催できた。出欠の確認についても、名札が残っている方が欠席として明確に判別できた。
2	能登豪雨の際、省内対策本部会議の冒頭でプレスを入れ、大臣の写真撮影等を実施したが、段取りやプレスの動線等に戸惑いが見られた。	具体的な動線や段取りの見直し、プレスとの調整方法等、今後に向けた改善を検討している。	次回訓練にてプレス（事務局代行）想定 of 省内緊対本部会議を開催し、検証予定である。
3	能登地震の際、リエゾンに携帯させた備品に寝袋や食料品が不足している等の改善点が見いだされた。	改善点を踏まえ、必要な備蓄品を確保し、リエゾン派遣用のキットを整備して、平時から即応態勢を取っている。 	改善後、リエゾン派遣用のキットを活用する場面は発生していない。

3.2)今後の研修・訓練

- 今後の研修・訓練について、知識・技能の習得（習熟）や、課題の抽出～対策実施による改善といった目的を踏まえ、対象者の選定を行うことが必要である。併せて参加する地方支分部局を適切に網羅するような災害（地震）を想定することで、全国を網羅して訓練を実施することが可能となる。
- 以下に想定される研修・訓練の案を示す。

項番	目的	想定する対象（本省）	手法	実施内容
1	基礎知識の習得	新任の防災担当官	ワークショップ	夏期訓練と同様な、マニュアルに基づく座学＋検討テーマに基づく議論による研修により、知識を習得する。
2	実践による体験	防災担当官（首都直下型地震対応補助担当）及び12km 圏内在住職員	ブラインド型シミュレーション	秋期訓練と同様な、最低限の実施事項（被害報の作成）に限定した災害対応の実践する。 政府防災訓練に準じて実施することを想定する。
3	防災意識の向上	全職員	e-learning	想定される災害事象の基礎的な知識を座学で習得させる。理解度把握のためのテストで最低限の得点を取得するまで繰り返させる。
4	災害対応への習熟	一般の防災担当官（首都直下型地震対応補助担当含む）	ブラインド型シミュレーション	冬期訓練と同様な、現実的な災害対応の実践により、実災害時に対応が求められる内容を擬似的に経験する。

